



【岡崎こころ先生】
2016年より中部中勤務。
2021年より日本人学校の先生として単身ドイツへ。
教科: 理科・国語・保体
特技: 剣道・走ること。

本年度4月より、ドイツの「ハンブルグ日本人学校」に勤務することになった。岡崎こころ先生。担任と、中学だ現在、小4年生を担当して奮も1~3年生の理科を担がらドイツに出とか。当然のこなるがらいつかえもコナが猛威を振るるかどうにかハンプは、現地へ赴任してきた。どうにかハンプ不透明な状態でした。どうにかハンプルクに辿り着き、現在に至っています。そんな、KOKORO先生から、日本人一校の様子をはじめ、「ドイツ」をレポートしてもらうのがこのコーナーです。回数は未定ですが、これからぜひお楽しみに!

1年生の皆さんは初めまして。2、3年生の生徒・保護者の皆さんお久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか?校長先生から、この様な機会をいただきましたので、これからドイツのことなどを紹介していきます。

ところで、このレポートのタイトルは、『Danke (ダンケ)』です。日本語では、「ありがとう」を意味します。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

『日本人学校』って? 『日本人学校』は、親の仕事の関係で海外に駐在している子どもたちに、日本と同じ環境で学べるようにしている学校です。

世界には今、95校の日本人学校があるそうです。その中で、今回私が文部科学省から派遣された学校は、ドイツの「ハンブルグ日本人学校」です。(州の名前はハンブルク、学校名はハンブルグ)

どこに行ってもいいと考えていたのですが、ドイツはとても素敵などころだったので良かったです。右の写真は、私が勤務する日本人学校で、今年で40周年を迎えました。ドイツにも桜があります。三重県より寒いので、4月中旬頃満開になりました。



ハンブルクについて ハンブルクは、地図でいうとドイツの北側にあります。首都ベルリンに次ぐ、ドイツ第二の都市です。学校から約20km離れたところに、左の写真の市庁舎があります。この庁舎の目の前に、日本の領事館があります。領事館へ手続き関係で行った時に、この壮大で美しい建物を見て感動しました。市庁舎が建てられたきっかけは、「ハンブルク大火」と言われる、1842年に起きた大規模な都市火災です。ハンブルクの街の4分の1が被害を受けたそうです。今後このような大火災が生じても火が燃え広がらないために、それまでの市庁舎を取り壊し、新市庁舎を別の場所に建設することになったそうです。当時、ハンブルクは、貿易・商業で成功を収め、街に駅やオフィスビルなどが次から次へと建設されていた時代で、新市庁舎はそうした街の発展・繁栄を象徴するような建築なのだそうです。



ハンブルクは、この市庁舎を中心に観光が盛んです。私が訪れた日は曇りで、(ドイツは曇りばかり!晴れはとても貴重です)どんよりとした空でしたが、晴れた日の様子はさらにきれいなので、是非調べてみてください。





部活訪問③ 卓球部・軟式野球部

学校だよりの新コーナーとして、「部活訪問」を企画しました。日頃から、各種大会やコンクール、文化祭等への出品などに向け、一生懸命に取り組んでいる様子を紹介します。中には、部長・副部長や顧問の先生へのインタビューも！！
★コーナー3回目となる今回は、「卓球部」と「軟式野球部」です。

【卓球部】顧問：河村博人先生・谷口智美先生 部長：松上心音 副部長：川戸琉汰郎

卓球台をピン球が跳ねる音が心地よく耳に響く中、卓球部の練習にお邪魔しました。卓球部は、3年生19人、2年生29人、1年生16人で、総勢64人の大所帯です。にもかかわらず、体育館内の部活動と場所を分け合っているため、最大でも8台の卓球台しか稼働できない状況です。この日も、1年生を中心に、体育館のステージ上で素振りや筋力トレーニングなどをやっていました。そのような状況ですが、部員たちは真剣な表情の中にも、時折笑顔がこぼれるなど、和気あいあいと練習に打ち込んでいました。



部長の松上さんは、「1年生は真面目にやってくれている。男女の仲も良く、互いに声掛け合っているのが良いところ」と話す。卓球の魅力は？に、「スマッシュが決まると、とても気分がいいところですかね」と答えてくれました。顧問の河村先生は、「先輩、後輩の上下関係がなく楽しくやっています。卓球は奥の深いスポーツ。技術の習得には時間もかかるが、広い視野で大会や日々の練習に向き合って」とエールを送る。谷口先生は、練習ぶりを眺めながら「楽しくできているのが何より。卓球を通じた仲間づくりができれば」と言われていました。



部員に声掛けする河村先生

【軟式野球部】顧問：佐藤雅俊先生・伊藤宗紘先生 部長：葛西隼 副部長：西山瑛都・山川羽希

練習場所となっている第1グラウンドの階段を降りかけた瞬間から、「こんにちは～！」の声が矢継ぎ早に飛んでくる……。そんな印象がある軟式野球部ですが、この日も変わることはありませんでした。小気味よく打ち出されるシートノックの打球に、素早く反応する部員たち。1年生も、同じように頑張っただけ対応している様子は、実にフレッシュではありましたが、すっかりチームの一員となっているところには少し驚きました。レフトを守る部長の葛西さんは、「徐々にチームワークが高まってきます」と期待を込めて話してくれました。続けて、「学校生活やプライベートでも仲良くしていくことで、もっと強くなるんです」と目を輝かせていました。



シートノックをする佐藤先生

顧問の佐藤先生は、「3年生が4人だからということもあるが、全員が仲良し。県大会出場を目標に頑張っています」と、力強く話す。また、「地域に応援されるチームになってほしい」とも。もう一人の顧問である伊藤先生からは、「努力は裏切らないので、やり続けよう」とのメッセージ。



確かに強くなる！そんな期待感に満ち溢れているチーム……。それが軟式野球部です。

梅雨入り後の つ・ぶ・や・き …

◆5月16日に、「東海地方が梅雨入りしたと見られる」との発表があった。早いなという印象はあったが、調べてみると、昨年は6月10日頃だったので、今年は統計史上最も早い梅雨入りだとか。始まりが早かったら、終わりも早いのかという疑問はあるが、大雨による災害がないことを祈るばかり。

◆明日20日から「第1回定期試験」となる。1年生は初めてということで、どんな勉強ぶりかが気になるところ。範囲は短い方なので、その分しっかりと復習しておいてほしい。

◆人権サークル「スマイルクローバー」が動き始めた。今年の活動にも、大いに期待を寄せたいと思う。